

14. 8-221



1200501227611

18

21

海外放送聴取状況

社団法人日本放送協会編

昭和十二年十一月



始



14.8
221

昭和十二年十一月

海外放送攝取狀況

社団法人
日本放送協會



昭和十二年十一月海外放送聽取狀況

十一月中ニ受付ケタル海外放送聽取報告ハ千五百八十八通ニシテ、之
ヲ地方別ニ大別スレバ

一、歐洲及亞弗利加	七二七
二、北米東部、南米其ノ他	三四三
三、北米西部及布哇	四三三
四、南方（シンガポール方面）	八五
五、シテ之等ノ諸地方ニ於ケル報告數ノ分布。聽取狀況ハ左ノ如シ。	

一、歐洲及亞弗利加	七二七
二、北米東部	五二七
三、北米西部	四五四
四、南方	四三八
五、シテ之等	一一二



北愛蘭	二
斐蘭	二
芬蘭	五
和蘭	一〇
丁探	四
瑞典	三
ラトヴィア	一
中歐	一〇六
獨逸	五二
奧地利	三六
瑞西	四
チエツコスロヴァキア	四
洪牙利	四
ダンチヒ	三
ユーゴスラヴィア	二

波蘭	一
南歐	八〇
佛蘭西	六五
白耳義	七
葡萄牙	五
伊太利	三
近東	二
パレスティナ	二

歐洲方面ニテ専ラ聽取セラルル放送ハ歐洲向ニシテ、其ノ聽取時刻其
ノ他ハ左ノ如シ。

歐洲向第一送信（日、英、獨、佛語使用）

（グリニツチ標準時）
后八、〇〇一、九、〇〇

（日本時間）
前五、〇〇一、六、〇〇

（中歐標準時）
后九、〇〇一、〇、〇〇

(東歐、近東局)
后一〇、〇〇一、〇〇

周波數 J Z E 一五、一六〇キロサイクル(五〇キロワット)

J Z J 一一、八〇〇 (二〇)

但シ十一月十日以後左ノ如ク變更セリ。

J Z J 一一、八〇〇キロサイクル(五〇キロワット)

J Z I 九、五三五 (二〇)

季節ノ推移ト共ニ、歐洲向ニ於テモ、六月以降初秋ニ至ル迄甚ダ良好ナル成績ヲ持續シツツアリシJ Z E ハ、先月ヨリ本月ニ互リテ成績漸次低下シ、不安定トナリ、感度モ衰へタル模様ナルモ、尙全体的ニ見テ、同時發射中ノJ Z J ヨリハ未ダ良好ニシテ、報告ノ大多數ニハJ Z E チ聽取セル旨ノ記載アリ、一方同時發射中ノJ Z J ハ冬季ノ近ヅクニ及ビ、夏期間ノ受信成績ノ甚ダシキ不良サヲ漸次恢復シテ聽取可能トナリ、報告ニヨレバ成績低下セルJ Z E チ凌グ成績ヲ示シ居ルモ、出力二十キロワットノ爲ノモアリ、感度必ズシモ良好ナラズ、加フルニ従前ヨリ報告

セラレツツアル北米、奧太利、伊太利等ヲハジメトスル各局ヨリ屢々妨害ヲ受ケテ安定セズ。右記ノ如ク十一月十日ヨリ周波數ヲ變更シテJ Z E ノ發射ヲ中止セル結果、歐洲全般ニ互リテ聽取不能ノ報告ニ接スルニ到レリ。依ツテ翌昭和十三年一月十三日ヨリ、更ニ次ノ如ク周波數ヲ變更セリ

J Y P 七、五一〇キロサイクル(五〇キロワット)

J Z E 九、五三五 (二〇)

J Y P ハ昭和十二年ニ於テモ、同ジク一月ヨリ三月ニ到ル間歐洲向ニ使用シテ最モ優秀ナル成績ヲ擧ゲタルモノニシテ、今期間ニ於テモ其ノ後甚ダ良好且ツ相當安定セル成績ヲ維持シツツアル模様ナリ。

今、J Z E 發射中止以前ノ受信成績ヲ、各地ヨリノ日誌ニ基キテミレバ次ノ如シ。

1、北歐ニ於ケル成績(芬蘭)

J Z E 優

良 一 六

不可	不可	可	良	優	平均	不可	不可	可	良	優	平均	不可	不可
〇	〇	一六	一六	〇	六一	三〇	〇	五	五	三	七二	一	一
中歐ニ於ケル成績（埃太利）自九月下旬至十月下旬 J Z K 優 三 五 五 三 七二% J Z J 優 〇 六一 三〇 〇 五 五 三 七二%													

可	不可	不可	可	良	優	平均	不可	不可	可	良	優	平均	不可	不可
一	五	六	六	九	六	四	五	六	九	六	五	一	四	八
尙、右ノ二十七日間ニ於テ、悉ク局ノ妨害ハ十七回報告アリ。 〇、中歐ニ於ケル成績（獨逸）自十月三十一日 J Z J 優 一 五 六 六 九 六 五 一 四八% J Z J 優 〇 六一 三〇 〇 五 五 三 七二%														

平均 約七〇%
 優 〇
 良 五
 可 二
 不可 四
 不感 四

J Z J 優 〇
 良 〇
 可 五
 不可 七
 不感 二

平均 四〇%
 優 〇
 良 〇
 可 五
 不可 七
 不感 二

南歐ニ於ケル成績（佛蘭西）自十月十一日（但シ周波數別明カナ）至全十五日

優 〇
 良 一
 可 八
 不可 四
 不感 一

平均 四九%

混信ニ關シテハ左ノ如ク報告アリ。

1、J Z Kニ關スルモノ 有リトスルモノ 一
 無シトスルモノ 一

2、J Z Jニ關スルモノ 有リトスルモノ 三五
 無シトスルモノ 一

J Z J（一一、八〇〇キロサイクル）ニ關スル混信妨害ノ内諱ハ次ノ如シ。

R N E	モスコイ (ソ聯)			
公稱	一二、〇〇〇	キロサイクル (二〇キロワット)		一八
I Z R O 4	ローマ (伊)			
	一一、八一〇		(二五)	六
O E K 3	ウイーン (奥)			
	一一、八〇〇		(一、五)	三
G S N (英)				
	一一、八二〇		(一〇〇)	二
D J R (獨)				
	一一、七七〇		(四〇-五)	二
W I A A L	ポストン (北米)			
	一一、七九〇		(一〇)	二
F C J	ホイゼン (和)	但シ P C J ニ J Z J ノ近似周波數アリ		
電 信		ヤ否ヤ不明		

以上、要スルニ J Z E ハ晩春ヨリ初秋ニ互リテ、歐洲向ニ於テ相當安定シテ良好ナル成績ヲ擧ゲシニ對シ、J Z J ハ僅カニ晩秋ヨリ初冬ニカケテ、地方的ニ、或ハ部分的ニ低下ヲ見タル際ノ J Z E ノ成績ニ比スレバ稍々良好ナルコトアレド、尙安定ノ域ニ達セズ、右ノ如ク多數ノ混信局ヲ有シ、而シテ夏期ニ於テモ、冬季ニ於テモ成績全ク擧ラズ、紛クトモ歐洲向ニアリテハ、五月一杯及ビ十月ヨリ十一月ニ互ル期間ヲ除キ、適當セル周波數ト云ヒ得ザルモノノ如シ。

II 亞弗利加

南亞聯邦

アンゴラ (葡領西亞)	二
ニヂェリア (英領西亞)	一

而シテ之等ノ聽取方向別報告數ハ次ノ如シ (但シ歐洲向第一送信ヲ I、北米東部及南米向第二送信ヲ II、北米西部及布哇向第三送信ヲ III、南方向第四送信ヲ IV トス)

南亞聯邦
 アンゴラ
 ニヂェリア
 歐洲向ハ、アソゴラ及ビニガニリソニ於テ午後九一〇時、南亞聯邦
 ニ於テハ大体午後一一一二時ニ當リ、聽取ニ甚ダ都合良ク、爲メニ漸
 次報告數ヲ增加シツツアルモノ如ク、又南方ヘシンガポール方面ニ向
 ハ南亞ニ於テ大体午後三―四時ニ當リ、時刻早スギ、又西部向ハ大約午
 前七―八時ニ當リ、一方向ノ時新ヘ昭和十一年ニハ相當ノ報告
 アリシモ、本年ニ入りテ著シク減少シタリ。從テ當地方ニ於テハ受信狀
 態ノ良好ナル限リ漸次歐洲向ガ主トシテ聽取セララルルニ至ルモノト思ハ
 ル。

尚、亞弗利加ニ於ケル周波數ハ左ノ如シ。
 一五五 聽取數
 一五五 聽取數
 二五 聽取數

一	一	三	一	〇	〇	〇	〇
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
〇	一	〇	〇	〇	〇	〇	〇
〇	〇	五	〇	〇	〇	〇	〇

一 北米東部
 二 北米東部及南米其ノ他

ニユー・ヨーク	四一	一二九
マサチューセツツ	三一	
ペンシルヴェニア	二七	
ニユージャージー	九	
ヴァージニア	六	
コネティカツト	四	
メリーランド	四	
ロードアイランド	三	
デラウエア	一	
北キヤロライナ	一	
南キヤロライナ	一	
チヨージア	一	
加奈陀東部	一八	

オンタリオ	八
マニトバ	六
ノヴァ・スコチア	二
ケベック	一
ニュー・ブランズウィック	一
北米中部	一〇〇
イリノイ	三四
ミシガン	一三
オハイオ	一二
ミズーリ	一〇
インディアナ	九
ウイスコンシン	八
ルイジアナ	七
アイオワ	二
ミネソタ	二

ケンタキ 二
 テネシ 一
 合計 二四七

本地方ニ於テ聴取サルル方向ヲ報台數ノ順ニ示セバ次ノ如シ。

一、北米東部及南米向第二送信

（東部標準時、前日）
 前六、三〇一七、三〇

后四、三〇一五、三〇

（中部標準時、前日）
 后三、三〇一四、三〇

周波數 一五、一六〇キロサイクル（五〇キロワット）
 一、八〇〇

二、南方・シンガポール方面ニ向第四送信

（東部標準時）
 前八、〇〇一九、〇〇
 后一〇、〇〇一一、〇〇

（中部標準時）
 前七、〇〇一八、〇〇

周波数 J Z J 一一、八〇〇キロサイクル（五〇キロワット）

三、北米西部及布哇向第三送信
 （東部標準時）
 前〇、三〇、一一、三〇
 （日本時間）
 后二、三〇、一三、三〇

（中部標準時、前日）
 后一一、三〇、一三、三〇

周波数 J Z J 一五、一六〇キロサイクル（五〇キロワット）

四、歐洲向第一送信

（東部標準時、前日）
 后三、〇〇、一四、〇〇
 （日本時間）
 前五、〇〇、一六、〇〇

（中部標準時、前日）
 后二、〇〇、一三、〇〇

周波数 J Z J 一五、一六〇キロサイクル（五〇キロワット）
 J Z J 一一、八〇〇
 （二〇）

但シ周波数ニ關シテハ、十一月十日（西部向ノミハ十五日）ヨリ南方
 向ヲ除キ一齊ニ次ノ如ク變更ヲ見タリ。

歐洲向及北米東部、及南米間

J Z J 一一、八〇〇キロサイクル（五〇キロワット）
 J Z J 九、五三五
 （二〇）

北米西部及布哇向

J Z J 一、全、右、（五〇）

而シテ各方向別報告數ハ左ノ如シ。（但シ數字ハ送信別）

北米東部

ニュー・ヨーク	八	I	七	一	九	一	三	IV
マサチューセツツ	三	二	八	二	二	一	三	
ペンシルヴェニア	一	二	〇	二	〇	一	三	
ニュー・ジャージー	三	二	〇	二	二	〇	一	
ヴァージニア	一	二	四	二	二	一	〇	
コネティカット	〇	二	四	二	〇	一	〇	
メリーランド	〇	三	四	一	〇	〇	〇	

アイオリ	ルイシアナ	ウイスコンシン	インディアナ	ミズーリ	オハイオ	ミシガン	イリノイ	北米中部
○	○	○	○	○	一	○	○	一
一	五	二	四	二	七	五	八	三六
○	○	二	二	一	○	一	三	一
一	二	三	二	六	一	二	九	二八

ロードアイランド	デラウェア	北キャロライナ	南キャロライナ	デヨージア	加奈陀東部	オンタリオ	マニトバ	ノヴァ・スコチア	ケベック	ニュー・ブランズウィック
○	○	○	○	○	一	○	○	一	○	○
○	○	○	○	○	一	五	二	一	一	一
○	○	○	○	○	四	一	三	一	○	○
○	○	○	○	○	一	一	一	○	○	○

ミネソタ	〇	一	〇	一
ケンタキ	〇	〇	一	〇
テネシー	〇	一	〇	〇
合	一〇	一一七	二三	四二

右ノ如ク、本地方向第二送信ハ夏季以降漸次報告數ヲ増シ、次第ニ主方向ノ地位ヲ占ムルニ至レルモ尙本項冒頭ニ掲ゲタル如ク、開始時刻ガ東部ニ於テ午后四時半ニ當リ、早キニ過ギ、未ダ充分ニ主方向ノ眞價ヲ發揮シ得ザル憾ミアリシモ、其ノ後翌昭和十三年ノ元旦ヨリ東部向ヲ新タニ南米向ヨリ分離シテ、左ノ如キニ送信ヲ新設セシトコロ、其ノ内日本時間ノ朝ノ分ハ、時刻ノ好適ナル爲メ、開始早々ニモ拘ラズ相當數ノ報告ヲ見ツツアリ、但シ之ニ關シテハ詳細ハ他ノ報告ニ譲ルコトトス。

新設北米東部向

- 1、(東部標準時、前日) 后六、〇〇一六、三〇 (日本時間) 前八、〇〇一八、三〇
- 2、(東部標準時) 前七、〇〇一七、三〇 (日本時間) 后九、〇〇一九、三〇

周波數 J Z J 一一、八〇〇キロサイクル(五〇キコワツト)

東部一帯ニ於ケル周波數別報告數ハ左ノ如シ

- J Z J 採取數 六六
- J Z J 採取數 九

但シ西部向及南方向ハ夫々J Z J、J Z Jノ單獨發射ナレバ之ヲ除ク

右ノ如ク、十月ヨリ十一月ニカケテハ、本地方ニ於テJ Z Jハ未ダ斷然J Z Jヲ凌ギテ採取者ノ關心ヲ集メツツアリ、夏期間ニ於ケルガ如キ安定度ハナクトモ、若シ今後トモ他ノ良好ナル周波數トノ同時發射ヲ繼續スルヲ得バ、今期間ニ於テモ相當ノ實用性ヲ發揮スルモノト思ハル。尙、混信ニ關スル報告ハ左ノ如キ數ニ上ル。

- J Z Jニ關スルモノ 七(七%)
- 有リトスルモノ
- 無シトスルモノ
- J Z Jニ關スルモノ

有リトスルモノ

七(二〇%)

無シトスルモノ

一

J、Z、Jニ對スル混信ノ内譯ハ次ノ如シ

0068 キーイバ 一一、八〇〇キロサイクル 三

W12AL ポストン(北米) 一一、七九〇 二

キユーイバノ新設局0068(同一周波數)ハ從來ヨリ混信ヲ報告セラレツツアリシ北米ノW12AL局ニモ増シテ妨害ヲ及ボシツツアリ、今後共J、Z、Jノ使用ヲ繼續スル爲メニハ、之ニ對シ何等カノ手段ヲ講ズル必要アルモノノ如シ。

II 南 米

フラジル 九
ヘルイ 五
アルセンチン 二
ヴェネズエラ 一

南米 合 計

一七

南米ニ於ケル各放送ノ採取時刻ハ、之ヲ報告數ノ順ニ擧グレバ次ノ如シ。

一、北米東部及南米向第二送信

(ヘルイ時、前日)
后四、三〇一五、三〇 (日本時間)
前六、三〇一七、三〇

(アルゼンチン標準時、前日)
后五、三〇一六、三〇

(ブラヂル標準時、前日)
后六、三〇一七、三〇

二、歐洲第一送信

(ヘルイ時、前日)
后三、〇〇一四、〇〇 (日本時間)
前五、〇〇一六、〇〇

(アルゼンチン標準時、前日)
后四、〇〇一五、〇〇

(ブラヂル標準時、前日)
后五、〇〇一六、〇〇

三、北米西部及布哇向第三送信

(ヘル1時)

前〇、三〇一、三〇

(日本時間)
后二、三〇一、三〇

(ブラヂル)

前二、三〇一、三〇

四、南方向第四送信

(ヘル1時)

前八、〇〇一、九〇〇

(日本時間)
后一〇、〇〇一、〇〇

(ブラヂル時)

前一〇、〇〇一、〇〇

而シテ各方向ニ對スル報告數ハ左ノ如シ

ブラヂル

I 五
II 三
III 一
IV 〇

ヘル1

〇 三 二 一

アルゼンチン

一 〇 〇 一

計

六 六 三 一

又、周波數別別列明ノ報告數ハ左ノ如シ。

J Z E 聴取數

〇 五

J Z J 聴取數

〇 五

右ノ如シ、夏期ヨリ引續キJ Z Eハ成績良好ニシテ、J Z Jハ早朝ハ第四送信ニ於ケル以外ニハ夏期ニ引續キ未ダ聴取甚ダ困難ナル模様ナリ。方向ニ於テハ先月ニ對シ歐洲向聴取數ノ率ニ於テ増加ヲ見タルモ、要スルニ南部ニ於テハ、本地方向ト歐洲向ハ聴取者ヲ折半シツツアリ、未ダ主方向確定セザルモノノ如シ。

III 中 米

墨西哥

六五

バナマ

五

計

七〇

方向別報告數

墨西哥

I 〇
II 一
III 三
IV 三

バナマ

I 一
II 二
III 〇
IV 〇

ハナマ、ハ右ノ如ク北米東部或ハ南米東南部ト同様ノ状態ニアル模様ニシテ
又墨西哥ニ於テハ、同國西部ハフアレス市ヨリノ日誌ニヨレバ

南方向第四送信（J Z J）

優	一
良	一
可	五
不可	四
平均	七四%
北米西部及布哇向第三送信（J Z J）	
優	二
良	一〇
可	一〇
不可	七
平均	六〇%

斯クノ如ク南方向ニ於テノミエズハ、他ノ各地ニ於ケルガ如ク、實

用ニ供シ得ル成績ヲ依然持續シ居リ、夏期間從來ニ比シテ甚ダ良好ナリ
シ西部向J Z Jハ成績次第ニ低下シ、漸ク率ニ於テ及第點ニ達シ居ル狀
態ニシテ、同地居留邦人ハ更ニ時刻好適ナル理由モアリ、殆ンド全テ南
方向ヲ聽取シツツアリ、且ツ西班牙語使用民族タル同地ノ墨西人ノ爲
メ、南方向ノ内ニ西班牙語ヲ使用スル様、南方向開始當時以來、引續キ
希望シツツアリ。

IV 西印度諸島

英領西印度諸島

ジャマイカ

キューバ

計

六 五 三 九

西印ニ於テハ主ニ北米東部及南米向第二送信ヲ、併セテ歐洲向チ、東
部ト略同様ニ、又例外的ニ南方向ヲ聽取シ、又J Z Jト同一周波數ノ
O G F局ノ地元ナレバ、未ダニJ Z Jチ良好ニ聽取セル報告ナク、專ラ

J 5 K ニ關スル報告ノミナリ。

三 北米西部及布哇

I 北米西部	
カリフォルニア	三六一
オクラホマ	三一六
テキサス	一二
カンザス	九
ワシントン	六
ネブラスカ	四
オレゴン	二
モンタナ	一
ユタ	一
ニューメキシコ	一
加奈陀西部	一五
B. G.	一二

本地帯ニ於テ聽取サルル方向ノ聽取時刻ヲ報告數ノ順ニ擧グレバ左ノ如シ。

アルバータ	二
サスカチエソ	一
アラスカ	三一
布哇	二六
計	四三三
一、北米西部及布哇向第三送信	
（西部標準時、前日）	
后九、三〇、一〇、三〇	后二、三〇、一三、三〇
（布哇時、前日）	
后七、〇〇、一八、〇〇	
二、南方（シンガポール方面）向第四送信	
（西部標準時）	
前五、〇〇、一六、〇〇	后一、〇〇、〇〇、一一、〇〇

（布 哇 時）
 前二、三〇一三、三〇
 三、北米東部及南米向第二送信
 （西部標準時、前日）
 后一、三〇一二、三〇

前六、（日本時間）
 三〇一七、三〇

（布哇時、前日）
 前一、〇〇一一二、〇〇

報告數（但右肩ニトアルハ西部標準時使用地方、
 左トアルハ山岳地方標準時使用地方）

1	カリフォルニア	〇	I	二	III	三〇五	IV	七
2	オクラホマ	〇	二	〇	〇	一	〇	〇
2	テキサス	〇	一	四	〇	四	三	〇
2	カンザス	〇	四	〇	〇	〇	〇	〇
1	ワシントン	〇	〇	五	〇	〇	〇	〇
2	ネブラスカ	〇	一	一	〇	〇	〇	〇
1	オレゴン	〇	〇	一	〇	〇	〇	〇

2	モンタナ	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一
1	ユタ	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
2	ニュー・メキシコ	〇	一	〇	〇	〇	〇	〇
1	B. C.	〇	三	七	〇	〇	〇	〇
2	アルバータ	〇	二	〇	〇	〇	〇	〇
2	サスカチニン	〇	一	〇	〇	〇	〇	〇
2	アラスカ	〇	〇	三	〇	〇	〇	〇
布	哇	〇	〇	二	〇	〇	〇	〇
計		〇	一七	三八	二五			

右ノ如ク、本地帯ニ於ケル方向別報告總數ニ於テハ、本地方向第三送
 信ガ主方向ノ貫録ヲ示シテ、壓倒的大多數ヲ占メツツアルモ、之ヲ仔細
 ニ點檢スレバ、西部標準時使用地方及ビ之ヨリ以西ノ、即チ日本寄リノ
 地方ト、西部標準時使用地方以東ノ各地、即チ主トシテ山岳地方標準時
 マウンテン
 チ使用シ居ル地方ノ兩者ニ於テハ多少ノ差異アリ、試ミニ右掲ノ州別方
 向別表チコノ兩者ニ分類セバ次ノ如シ。

西部標準時使用地方其他

西部標準時使用地方其他	○ I	五 II	三七六 III	七 IV	三八八 計
率	○ %	一 %	九七 %	二 %	

山岳地方標準時使用地方

山岳地方標準時使用地方	○ %	一四 %	五二 %	三五
率	○ %	一四 %	五二 %	三五

斯ノ如ク、西部標準時使用地方（アラスカ及ビ布哇ヲ含ム）ニ於テハ主方向タル第三送信ガ、歐洲ニ於ケル歐洲向ニ次イデ、專ラ聽取者ヲ惹キ付ケツツアルモ、一方、山岳地方標準時使用地方ニ於テハ事情ヲ異ニシ、同地方北部ハ寧ロ北米中部（シカゴ市、ニューオルリンズ市ヲ中心トスル地方）ト同様ノ狀況ヲ示シ、更ニ同地方南部ノテキヤス、ニューメキシコノ諸州ハ、ソノ南方ニアル前述ノ墨西哥西部地方ト狀況チ一ニシテ、南方方向ガ多數チ白メツツアル状態ナリ。

メリアナルニ於ケル第三送信（ワシントン）ノ成績
 1. 同北部（ロイズゲイル）十月五―三一日
 一八（十月二二日迄）
 良 優 ○

九（十月二三日以后）

可 ○
 不可 ○
 平均 八三 %

2、同中部（I、桑港、II、サンノゼ、III、トレイシー、IV、ガイサリア）

優	一〇 I	一二 II	〇 III	八 IV	三〇 計
良	一七	〇	一五	三	三五
可	一二	六	一〇	四	三二
不可	八	九	六	一五	三八
平均	六八 %	六二 %	六二 %	五一 %	六二 %

3、同南部（サン・ペドロ）十月一―四―三一日

優 五
 良 九
 可 二
 不可 二
 平均 七五 %

B・C・ニ於ケル成績、十月十五―二十八日

優 三

良 一

可 〇

不可 三

不感 三

平均 五〇%

布哇ニ於ケル成績、十月一―三十一日

優 九

良 五

可 五

不可 〇

平均 八二%

右ノ日誌ニ就テ見レバ、第三送信ノJZKハ九月末ヨリ、夏期ニ於ケルガ如キ安定度ヲ漸次失ヒ始メ、大体十月二十日ヲ境トシテ、其ノ後ハ

成績低下シ、日ニヨリテハ成績甚ダ良好ナルコトアルモ、又日ニヨリテハ聴取全ク不能ナル日モアリ。要スルニ、十月中旬以降ニ於テハ、本第三送信モ現行ノ如キJZKノミノ單獨發射ニテハ實用ニ供シ難キモノノ如ク、從ツテ若シ十月中旬ヨリ十一月末頃迄、他ノ適當ナル周波數トノ同時發射ヲ爲スヲ得バ、本期間ニ於テモ第三送信ハ相當ノ成績ヲ擧ゲ得ルコトト思ハル。

尚、布哇ニ於テハ、北米西部ニ於ケルトハ、多少事情異ナリ、本期間ニ於テモJZKガ充分ナル成績ヲ擧ゲツツアルハ右掲ノ日誌表ニ於ケルガ如シ。

最後ニ、混信ニ關スル報告ハ甚ダ僅少ニシテ左ノ如シ。

第二送信ニ關スルモノ

有リ

無シ

一

一

第三送信ニ關スルモノ

有り

三

電信

無シ

一一

濠洲
新西蘭

一三

合計

八五

本地帯ニ於テ主トシテ聽取セララルル放送ハ本地帯向第四送信ニシテソノ聽取時刻ハ左ノ如シ。

(上海イマニラ時)

后九、〇〇一〇、〇〇

(日本時間)

后一〇、〇〇一一、〇〇

(シンカポール時)

后八、二〇一九、二〇

(ピルマ時)

后七、三〇一八、三〇

(印度標準時)

后六、三〇一七、三〇

南支ヨリ比律賓、佛領印度支那、英領馬來(シンガポール)及ビ蘭領東印度諸島ノ、所謂南方地帯ノ中心ヲ形成スル方面ニ於テハ、第四送信ノ受信狀態ハ殆ンド全ク安定セルガ如ク、若シ來タル冬期間ヲ通ジテ斯

クノ如キ成績ヲ維持スルヲ得タル曉ハ、他ノ方向ト全ク相反シテ、南方
 向第四送信ノミハJZJノ單獨發射ヲ以テシテモ足ル可ク、少ナクトモ
 現在マデノトコロ、南方地帯以外ノ各地ニ於テモ、第四送信ニ於ケル限
 リ、JZJハ相當ノ成績ヲ維持シツツアル模様ナリ。但シ南方方向ノJZ
 Jモ孟買以西ノ印度、ソングニスシノ各地及ビ濠洲方面ニ於テハ、之
 ガ漸次指示方向ヲ外レ、反對ニ伊太利IERROR4局（JZJト一〇キロ
 サイクルノ差）強大トナリ、從ツテ之ガ妨害ヲ受ケ、受信状態良好ナラ
 ズ。

濠洲及新西蘭ニ於ケル方向別報告數

濠洲	I	II	III	IV
新西蘭	六	二	〇	一四
計	一〇	二	六	一九

本月ハ右ノ如ク濠洲及新西蘭ニ於テハ、報告數ニ於テ南方方向ノ聽取數
 最高チ占メツツアルモ、南方方向ノ開始時刻ハ之等ノ地方ニ於テ后一、
 〇〇乃至前一、〇〇（翌日）ニ當リ、時刻必ズシモ適當ナラズ、或ハ之

ハ單ニ一時的現象ニ過ギザルニハ非ズヤト想像サレ、要スルニ之等ノ地
 方ハ、主方向ニ關シテハ未ダ混沌タル状態ニアル模様ナリ。

濠洲及新西蘭ニ於ケル周波數別報告數（但シ第三、四送信ヲ除ク）

JZK聽取數	I	II	計
JZJ聽取數	六	二	八
JZJ聽取數	六	〇	六

14.8
221

終